

第3回チャリティーイベント

Love of Life with AIDS

「エイズを生きる」土橋正之写真展

■ 期間 6月8日(木)まで 14:00~19:00 ■ 主催 NPO MOTHERSHIP

入場無料



「私は大切な存在」

ごあいさつ

世の中の価値観が多様化を深める中、いつの時代も変わらない大切なものがあります。それは「いのち」です。NPO「MOTHER SHIP」は、生まれてくる新しい「いのち」との出会い、そしていつかは迎える別れまで、ずっと「いのち」の大切さを考えていきたいと活動を続けています。

この度、写真家・土橋正之氏と横浜 AIDS 市民活動センターのご厚意により、写真展「エイズを生きる」を開催する運びとなりました。今回出展されている写真は、土橋正之氏が1992年から米国に渡り、様々な HIV 感染者や AIDS 患者のありのままの姿をファインダーでとらえたものです。

この写真展が、私たち一人一人がエイズに対する理解を深め、命の尊さ考える一助となることを願っています。どうぞ、ごゆっくりとご鑑賞ください。

受付に、募金箱を設置しております。この期間中にお寄せいただいた募金は、財団法人エイズ予防財団・日本エイズストップ基金に寄付させていただきます。また、千円以上の寄付をした方には、HIV 感染者や AIDS 患者の方々に対する理解と支援のシンボルであるレッドリボンを差し上げておりますので、受付でお声をかけてくださるようお願いいたします。

NPO 「MOTHERSHIP」

代表 井尾裕子（井上レディスクリニック院長）

土橋 正之プロフィール

土橋 正之 どばしまさゆき

1959年生まれ。日本大学芸術学部写真科卒業。同大学在学中、米国ワシントン州立大学留学。在学中に故三木淳氏に師事し、写真の素晴らしさを学ぶ。卒業後フリーの写真家として活動を始め、今日に至る。数度の長期海外生活を通して日本文化への興味を深め、ライフワークとして伝統芸能である歌舞伎の役者を撮り続ける。1992年度文化庁芸術家在外研修員として、米国でエイズをテーマに「写真が文化に及ぼす影響」について研究。作品に「三代目 中村橋之助」がある。日本写真作家協会会員。?